

住みよい小山をつくる会 第2回企画会議 議事概要

日時：平成18年3月8日（水） 午後7時～午後9時

会場：小山公民館 中会議室

1 「安全・安心情報システム」について

(1) ひばり放送の活用と安心・安全情報システム稼働について

- ・ひばり放送は情報伝達の確実性が悪く、防犯については活用できない。警察官が現場に駆けつけることが最も確実。交番等を増やすなど、警察の強化が必要。
- ・犯罪情報発信について一般市民に期待するのは無理がある。警察でも難しいことだ。
- ・ひばり放送で下校時刻を流してもらえれば、地域によるサポートが得られるのではないかと。また、チラシやメールと同時に使えば効果は得られるのではないかと。

(2) 安全・安心情報システムについて

- ・パソコンや携帯を一切持たない人もいる以上は、万全なシステムではない。
- ・不審者情報は地域に無用な不安感を与えるのではないかと。
- ・発信する情報の選定などを整理し、上手く活用できれば有用なシステムである。

(3) 学校からの情報発信について

- ・学校から発信したい情報は、犯罪者情報ではなく、学校で行っている活動や、学校の実情である。これを地域と共有することによって、お互いの連携をしていきたい。今後はまず自治会を通じて情報発信していきたい。
地域における情報共有について、数名のワーキングチームを作って、より具体的な検討をする。

2 他地域での防犯活動事例紹介

地域による防犯活動のについて、伊勢崎市の夜間に家庭の門灯をつけることにより、地域内の犯罪を防止する運動（コーヒー1杯・セーフティライト運動）と、岩手県花巻市の子供と共に、地域内の110番の家を訪問し、所在を確認するイベント（110番の家ラリー）の事例紹介がされた。

- ・110番の家については、登録の見直しが必要な家もある。登録当時と家族構成等が変わってしまって、子供の駆け込みに対応できない家もある。門が閉まっているところもある。登録家庭の見直しは必要である。

この問題は全体会にもかけることとする。

3 組織のあり方、会則等について

事務局にて作成した会則案について説明。数名のワーキンググループで第2回全体会までに内容を精査する。

4 ワーキンググループのメンバー選定について

地域における情報共有のワーキンググループのメンバーとして4名選出した。（当日欠席者1名を追加して合計5名）

会則のワーキンググループのメンバーとして3名選出した。（当日欠席者2名を追加して合計5名）

次回企画会議は、5月の連休前に小山公民館において行う。具体的な日程については後日決定する。

ワーキンググループについては、各グループごとに別途日程調整する。